

平成24年10月(2012年)No.562

## 第52回OMC映像フェスティバル 全ハイビジョンの新作発表で大好評

この10月7日(日曜)13時から大阪市立中央会館で開催された。第52回 OMC 映像フェスティバルは、会場をほぼ満員にして盛会となりほっとしております。内容も「よかった」と云って下さる方が多く、伝統あるOMC映像フェスティバルは作品内容もハイレベルな発表会であるとの印象を持ってもらったのではないかと自負しています。さあ来年に向け、良い作品づくりを目指しましょう。

今回は初めて全作品をブルーレイディスクにして上映いたしました。関さんに替って進藤さんと江村さんのコンビで、ディスク作成から上映まで担当して頂き、ご苦勞をおかけしました。一方、1万ルーメンの重いプロジェクターを持参され、助手の方共々上映の監視を担当して頂いた黒田会員共々、うまく上映がなされたことに感謝しております。その他照明係、受付係など会員諸氏のご協力にも 厚く御礼申し上げます。

### 他クラブの秋の発表会

- 第12回京都アマチュア映像祭 11月3日(土・祝)12時半開場  
京都市下京区河原町通5五条下ル東側 ひと・まち交流館
- 第16回大阪アマチュア映像祭 11月4日(日)12時半開場1時上映  
地下鉄千日前線・西長堀7号出口すぐ 大阪市立中央図書館5階
- サカイ8ミリビデオクラブ映像フェスティバル 11月25日13時15分上映  
堺市民会館小ホール(AM11時~13時は演劇の催しあり)
- 神戸映像フェスティバル 11月3日(土・祝)12時半開場・13時上映  
(プログラム未着のため詳細不明)

### 10月例会のお知らせ

10月例会は第4土曜日27日18時より。難波市民学習センター(JR難波OCATビル4階)にて開催します。季節もよし、どうぞ例会にお出掛け下さい。作品を作って皆に見て貰い、更に2次会で会話がはずむことは、歳を忘れて健康のために最高です。どうぞお越しを

## ■予告 (1)

- ・12月例会は予定通りの第4土曜日22日  
同日は13時より幹事会、15時より世話役  
会を開催、予定しておいて下さい。

## ■予告 (2)

- ・1月例会は第2日曜13時より開催、例会  
後総会を行います (第3研修室)
- ・夜は恒例により新年会を行います。今回  
はくじ運悪く思った日と会場とれず。

## 全国コンテスト情報

### ■春日部市ビデオフェスティバル 映像コ ンテスト、彩の国全国コンテストに代え 新発足

・彩の国埼玉全国映像コンテストが今年 1  
月 29 日の発表会でをもって終了となり、残  
念がられていましたが、これに変わるもの  
として、春日部市が映像コンテストを開催  
するとのことでしたが、既に募集が先程終  
わってしまいました。今年は間に合いません  
が、来年へ向け目標を立てて作られたら  
如何でしょうか。題材自由 12分以内。

出品料無料、締切は H25 年 9 月

### ■丹波篠山ビデオ大賞

- ・大会テーマ”生きる”
- ・応募締切 H24 年 11 月 30 日必着
- ・賞金 ビデオ大賞 20 万円知事賞 3 万円
- ・決勝大会 平成 25 年 2 月 3 日 (日)

注) このコンテストは当クラブの前田茂夫  
さんが2回入賞 (1回はグランプリ) 実績

### ■東京アマチュア映像祭全国コンテスト

- ・テーマ自由 10分以内
- ・出品料 2千円
- ・締切り 平成 25 年 6 月 20 日 (予定)

注) このコンテストも当クラブから合原会  
長がグランプリを含め4回受賞のほか、進  
藤氏、江村氏、関氏等多くの方が受賞され  
ています。今から目標をたてて制作され  
たら如何でしょうか。勉強になりますよ。

## 例会作品 9 割がブルーレイに

つい先程までは例会作品では DV か

HDV かが殆どだったが、上映環境の整備  
をととのえたとたん、9割方の会員さんが  
ブルーレイにて持参するようになっていま  
す。私などまだブルーレイを作る環境に  
なく指を食えて待つのみだが、うーん (会  
長)

## 9 月例会のレポート

この月の例会日は第四土曜日が祝日と重  
なった為、29日 (土) 一週遅れの開催と  
なった。9月に入って一向に衰えぬ猛暑も、  
ようやく朝夕はしのぎやすくなってしま  
した。そんな中、久しぶりに田中会員がお  
元気な顔を見せられた。出席者は 21 名で  
作品はやや少ない 12 本でした。

今月の司会は進藤氏、上映担当は井上、  
江村、河合の 3 氏、書記は岡本氏、受付兼  
照明は紙本、華岡の両氏で進行しました。

■出席者：有村、井上、江村、岡本、上総、  
紙本、河合、黒田、合原、進藤、関、高瀬、  
田中、西村、華岡、前田、宮崎、森口、森  
下、山本、吉岡の 21 名でした。

■上映作品 (今月の講評は岡本世話役です)

### 1. プランバナン寺院 (BD)

花岡 汪さん 8分33秒

インドネシアのジャワ島にあるプランバ  
ナン寺院群を訪ねられました。プランバ  
ナン寺院群は、ジャワ島中部の玄関口である  
ジョグジャカルタの東方 15 キロのプラン  
ナバン平野に点在するヒンドゥー教寺院の  
複合遺跡だそうです。なかでも、ヴシュヌ  
寺院、シバア寺院、プラーマ寺院、アビト  
寺院、ガルーダ寺院、ナンディ寺院、ハン  
サ寺院など画面に登場します。ジャワ島中  
部地震による倒壊でまだ修復されてない遺  
跡も見られます。克明に撮影されています  
が静止画がほとんどで絵ハガキをみている  
ようです。もう少しカメラを動かされた方  
が良かったと思います。ナレーションも最  
初だけでももう少し最後までいれられたら良  
く解ったと思いました。

### 2. 豊穰への祈り (HDV)

### 河合原七郎さん 12分16秒

室町時代から伝わる日本三大御田植祭ともいわれる志摩市磯部の里で、毎年6月24日に行われる御田祭を撮影されました。

伊勢の皇大神宮の別宮、伊雑の宮の神田で、志摩の夏祭りともされる御田植式(国の重要無形民族文化財)で、華やかな衣装をまとった太鼓打ちや笛吹きらが奏でる田楽が響く中、泥田で男たちが泥を掛け合いながら泥中になぎ倒したり、はてはダイビングするものもあり、そのあと縁起物の竹を取り合う勇壮な竹取神事がはじまりました。竹取神事が終われば白い着物に赤いたすきがけをした早乙女たちが早苗を植える古式ゆかしい神事がはじまりました。田植えが終わると、一の鳥居に向けて行われる踊込みで荘厳な時代絵巻で映像は終わりになります。

古式ゆかしい映像をみせていただきました。

### 3. 乗り物いろいろ (BD)

#### 山本正夢さん 12分30秒

作者はいつも海外編で楽しませてくれます。今回は、大阪から上海航路で上海へ、上海からバンコックまで3週間の旅を乗り物を乗り継いでの撮影行です。上海～福州～泉州～開平～南寧からベトナムへそしてタイからラオスへいろいろな乗り物を乗り継いでの旅。その旅情を拝見させていただきました。それにしても長旅、大変お疲れだったことと思いました。作者ご自身の映像もいれられたら良かったと思いました。

### 4. ポールGetty博物館 (BD)

#### 井上勝彦さん 9分19秒

米国の大富豪のポール・Gettyのコレクションを集めた美術館を訪ねられたものです。古代ギリシャやローマ美術、ルネッサンスやバロック、また近代にいたる絵画や彫刻などを奥様のナレーションで解説されていきます。モダンな建築物などの映像を見せていただきました。オール手持ちで撮影されたそうですが、なかなかじっくりと撮影されていました。

### 5. 山鉾にひかれて本宮巡行 (BD)

#### 進藤信男さん 14分20秒

毎年行われる京都の夏の風物詩、祇園祭りのクライマックスである本宮の山鉾巡行を撮影されたものです。四条烏丸を午前9時に出た山鉾は、長刀鉾を先頭に四条通りから河原町通りへ向かいます。そして御池通りから新町通りの巡行です。豪華絢爛な一大ページェントが繰り広げられていきます。巡行が終われば鉾の解体シーンでエンディングです。うだるような暑さ、通りをおおいつくす観客の中、カメラをまわされました。

祇園祭りは、歴史はもとより規模の壮大な京都絵巻を拝見させていただきました。

### 6. 郡上八幡 (BD)

#### 紙本 勝さん 13分00秒

サブタイトルに「水と踊りの城下町」とあります。その名の通り清流と名水の城下町、そして郡上おどりのふるさと岐阜県郡上八幡を訪ねられた作品です。

郡上八幡城の紹介から始まります。そのあと町のそこここに清流がながれ、その清流が育んだ文化や町並みの紹介がつづきます。そして夕闇がせまるころになると、四百年の間歌い踊り継がれた郡上おどりが始まりました。唄声と三味に太鼓の音が、川の瀬音にマッチして優雅な郡上おどりが画面を盛り上げます。ふるさとの郷愁を想いおこさせる作品になりました。

### 7. 余呉湖の思い出 (BD)

#### 有村 博さん 7分25秒

平成12年2月例会で発表された作品を再度持参されました。

当時の2月11日に滋賀県の余呉湖でO MCの「冬景色」をテーマにした作品研究撮影会での作品です。この作品はさらに20年前(昭和55年11月)に行われたO MC撮影会のフィルム映像を合成されたものです。その時の撮影対象の養蚕農家の様子を回想シーンをまぜながら構成されています。フィルムをDVDにそしてBDにされましたが画像の良さにはおどろきまし

た。

## 8. 伊吹山の名水は今 (BD)

森口吉正さん 8分50秒

いつも名水をテーマに発表されている作者。この作品は、先月の例会で発表された「伊吹山花紀行」の帰り道で撮影された映像です。伊吹山は滋賀県最高峰の山であり、日本百名山である。雪が多い気候であることから、山麓は湧き水が豊富であり、伊吹山の石灰岩層を抜けて出たためカルシウムの含んだ硬水という特徴があります。伊吹町にある名水百選に選ばれた泉神社湧水にはその水を求めて訪れるハイカーが絶えなかった。作者も過去には何度か訪れている。ところがこの度三度訪れてみると「立ち入り禁止」の看板があり人影がみられない。なんということでしょうか。おそらく観光化され、環境の悪化を懸念されての措置だろうが、なんとも空しい。何とかもとの自然の姿にもどしてほしいものだと結んでいます。

## 9. 嵯峨野巡り (BD)

宮崎紀代子さん 8分21秒

京都の観光名所の一つである嵯峨野、嵐山を起点として自然に恵まれた小道を散策する映像です。過去にも何回か訪れている作者、その映像を交じえながら構成しています。いかにも京都を愛している様子が伺えます。落柿舎から野々宮神社そして保津川下りの映像に作者お得意の短歌をよまれています。歌詞がほしかったです。そしてBGMがクラシック調なので和風な曲の方がよかったかも知れません。

## 10. 雪の竹田 (BD)

江村一郎さん 6分00秒

昨年発表された「雪の竹田城址」と同時期に撮影されたものでしょうか。兵庫県朝来市和田山町のJR播但線竹田駅周辺でしょうか。厳寒の様子を撮影されています。朝日に輝く雪景シーンが美しい。やがて雪かきをするおばさん、玄関には国旗がかかげられている。元旦の朝だろう。三毛猫のアップ、雪をかきわけて入ってくる電車や

しんしんと降りしきる雪の中を行き交う人々、まさに雪国の風情がよくでていました。寒い中ご苦労様。

## 11. ひと区切りの映写会 (DV)

合原一夫さん 18分00秒

一昨年の10月に「第50回OMC映像フェスティバル」が朝日生命ホールで開催され、400名近い観客数で大成功裏に終えた。その時の模様を会員2氏の協力により撮影されたものを纏められました。

朝日生命ホールはかつてフィルム時代の発表会の会場でなつかしいビルの映像から始まります。受付風景では全国からかけつけていただいた方の顔が見えます。

いよいよ上映開始合原会長の挨拶から出品者の紹介場面が続きます。中休みの後は日本アマ連の川上事務局長の祝辞、そして後半も作者の紹介。上映終了後の二次会の様子が記録されています。ひと区切りになる記念すべき映像祭の記録をナレーションで解説されて纏められ、記念にのこる記録映像になりました。

## 12. 祇園八朔 (BD)

高瀬辰雄さん 8分00秒

八朔とは旧暦の8月1日のことです。この日に京都祇園では、芸妓や舞妓は、日頃お世話になっている芸事の師匠や日々の舞台となるお茶屋へ一軒一軒、挨拶回りをする風習がある。現在は新暦の8月1日に行われているそうです。

作者はこの模様を撮影されました。舞妓さんや芸妓さんは、黒紋付に白塗りの正装で、暑い中をまわります。涼しそうな顔をしています。本当は暑いでしょう。一目見ようと大勢の観光客やカメラマンが画面に入るのは避けられませんね。惜しいです。BGMの琴の音もマッチしていて、やはり芸妓さんや舞妓さんは京都の街によく似合いますね。

以上で例会を終え、いつもの通り居酒屋組と喫茶組とに別れて二次会を楽しみました。